

じゃっと新聞

No.61 号

活動視察報告・式典ご案内

発行日：2013. 2. 18

発行人：古田 宣稔

発行所：じゃっと事務局

〒895-0054

鹿児島県薩摩川内市神田町 11-20

若松記念病院内

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail jaddo@po2.synapse.ne.jp

<http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/>



ナテ小学校記念式典

「ラオスでの 20 周年記念式典を終えて」

理事長 古田宣稔

新しい年を迎え、皆様良き年をお迎えの事と思います。「じゃっと」は 20 周年を迎え、気持ちを新たに活動して参ります。会員の皆様の御協力御支援を宜しくお願い致します。

前回ご案内したスタディツアーを 11 名の参加者で昨年 11 月 23 日～12 月 1 日の 9 日間実施しました。今回の目的は仏教のお祭りである「タットルアン祭」とラオスでの 20 周年記念式典でしたが、初めて見学したお祭は数千人のお坊さんに圧倒された事と、寺院の広場に捨てられたゴミの多さに驚かされました。「豊かになったなー」と感じた半面 少しずつ失いつつある物に想いを馳せた次第です。

ラオスでの 20 周年記念式典は、最初から支援を続けてきたナテ小学校で行われましたが、子供達や村人が総出で日本の旗を振って歓迎してくれたことに感動しました。校舎やトイレ、校庭は綺麗に掃除されてゴミ一つ落ちておらず、前日の祭りの様子との対比で、じゃっとの活動を、しっかりと認識できて嬉しい限りでした。（上の写真をご覧ください。）

また、夜はビエンチャンのランサーンホテルで NGO 団体やラオスの方々の出席で記念式典を行い、コンサップ氏の手配でケーキカットまでして皆で 20 周年を祝いました。

川内でも、今年度の締めくくりの行事として 3 月 24 日に記念式典を開催いたします。事務局は記念誌の発行、式典準備を進めております。

20 年続いてこられたのも会員の皆様の御蔭であり、式当日は講演、活動のビデオ、ラオスの音楽を皆様に楽しんでいただきたいと企画しております。

お忙しいとは思いますが、会員の皆様のご出会を賜ることが一番大切と思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

第 19 回スタディーツアー報告記

事務局 高橋真弓

2012 年 11 月 24 日(土)

ベトナム航空 357 便 福岡→ハノイ→ルアンプラバン。参加者 10 名、ハノイで乗継のために約 6 時間過ごしルアンプラバンへは現地時間、夜 8 時頃着。ナイトバザールを散策しながらメイン通りのレストランで軽い食事。時差が－2 時間あるため、時計は 10 時でも日本は夜中 12 時。眠いはずだ。

11 月 25 日(日)

学校が休みのため、今日は市内観光。ホテルがメイン通りに近く、私の部屋は市場が開催される道路側だったため朝 5 時が過ぎるとバイクの騒音で目覚める。他の人はワットマイ側、鐘の音で目覚めたらしい。薄靄の中、待ちきれなくて散歩へ。まだ準備中の活気溢れる前の市場を通り抜けると、敬虔な仏教徒が多いラオス人の日常の朝の風景、托鉢に遭遇。朝食後は、王宮博物館を全員で見学しその後は自由行動に。大学生達はレンタサイクルで街を回り、私は一人で街を散策。女性の一人歩きも平気なのがラオスのいいところの一つ。

11 月 26 日(月)

今日は、町から約 2 時間離れた Nambak 郡の 2 小学校視察へ。川内ライオンズクラブが建てた学校で、モン族の村の学校の生徒数が増えつつあった。上級生が隣村に行っていたのが、教室ができたので村に戻ってきたのだ。ライオンズクラブからノート、ペンをプレゼントし、じゃっどは「てをあらおう」絵本を読み聞かせしてからタオルも一緒に供与した。2011 年竣工記念に植樹した木が成長していて嬉しかった。



夕刻から王宮博物館横シアターで伝統舞踊を観劇。

11月27日(火)

ルアンプラバン→空路ビエンチャンへ移動
古田理事合流。通訳を待てども連絡つかず、そのうち専用車のドライバーも帰ってしまいトゥクトゥクを交渉して、夕方4時にしまるパトゥーサイにぎりぎりセーフ。屋上から見下ろすビエンチャンの町並みは緑豊か。祭りの影響で車が多い。



11月28日(水)

タートルアン祭りの朝。**Dr.Kongsap** が用意してくれた托鉢用品一式をかかえ、到着した頃は既に読経が終わり、国中から集まった僧侶、敬虔な仏教徒、観光客など行く人と帰る人でごったがえしていた。僧侶は寄進された御飯、卵、お菓子、お金などを大きなポリ袋にごちゃまぜに入れ、まるでサンタのように担いで帰る姿も見受けられた。寺院に入るには女性はシン(ラオスの巻スカート)を着用していなければならない。ジーンズ姿の私だけが外で待つことに・・・と思いきや、しっかりとレンタル屋さんがあって 40,000kip で貸してくれた。その後ビエンチャン最古のワットシーサケット、道路向かいのホーパケオ(博物館)を見学しその後タラート(市場)へ。新しくできたビルディングのトイレは有料(50 円くらい)で入り口にいる係員にお金を払ってから紙をもらうシステムだ。



11月29日(木)

対象校視察、ナテ村で式典。前日が雨だったせいか、ぬかるんだ赤い舗装してない凸凹道を揺られ、市内から約 90 分、ナテ村小学校へ。子供たちが校庭で両国の国旗を振って出迎えてくれた。感激。





ສະບາຍດີ.



20 周年式典 IN LAOS

於：十丕村小学校



私にとって今回のラオスがはじめて行く発展途上国と呼ばれる国でした。今まで行ったことのある国々にあるような高層ビル群や繁華街、ビーチ、歴史的建造物などのない「貧しい国」、それが、私がラオスに行く前に持っていたイメージでした。この旅行の後、私は「貧しい」ということについて考えが変わることになります。まず、最初についた都市はルアンパパンと呼ばれる都市で、表面上はにぎやかに見えるけど実際は外国人観光客がメインストリートを闊歩しているだけで、「作られたラオスらしさ」しかないただの観光地でした。ビエンチャンもそうです。ただの発展して、発展するにつれてありきたりな都市に近づいているような気がしました。この二つの都市だけをみただけならわざわざラオスまで足を伸ばさなくてもバンコクやハノイで十分だったな、と感じたでしょう。私の価値観を変え、最も感動させてくれたのは、観光地から車で塗装もされてない道を1, 2時間走ったところにある村でした。この村にあるものがルアンパパンやビエンチャンにない“リアル”なラオスだったと思います。もちろん最初は、でこぼこ道に揺られ、車窓から見える風景を見て、水洗トイレもない、電気もない、ティッシュもないことに驚き「やっぱり貧しい国なんだな」と考えていました。そして、いざ村につき、学校につき、村の人々とお酒を飲み、子供たちとサッカーをするなかで、私が今まで考えていた”貧しさ“というものを人々から全く感じないことに気づきました。いままで、いろんな国々の路上の貧しい人々を見てきました。私が一年生活していたトロントでは、いたるところに紙コップを持ってお金をせびる人々がいました。いままでそういうものを見てきてわたしは「貧しさ」には「悲壮感」が付きものであり、「貧しさ」とは物資がなく、”先進国の生活“がおくれないものだと思っていました。しかし、村でそういった「悲壮感」も感じることはなく、むしろ、村の先生や村長、保護者の方々、子どもたちが一緒になってワイワイ学校に集まっているのを見て言葉にできない”豊かさ“を感じました。確かに、村にはインターネットはないでしょう。テレビもない、水洗トイレもない、自販機もない。”先進国の生活“は皆無でしょう。しかし、そんなラオスの村をみて、どうしても私は”貧しい“と感じることはできませんでした。むしろ、コミュニティを大事にし、助け合い、人に親切にすることを忘れないラオスの村が、発展と豊かさとともに古き良き伝統を捨ててきた日本より豊かに映ったほどです。ここで私の”貧しさ“と”豊かさ“に対する考え方が変わりました。ラオスは間違いなく豊かな国です。先進国が発展とともに捨てた”豊かさ“をいまだに持っています。物資の豊富さだけが豊かさではないこと、先進国の人から見た”貧しさ““というものが決して”貧しい“ということではないことをラオスの村は教えてくれました。このラオスへの旅は今までで一番私の価値観を変えてくれたものであり、一番貴重な体験となりました。機会があればもう一度、ルアンパパンやビエンチャンではなく、ラオスの村々を訪れたいと思います。

ラオスにいったかんじたこと

時村兼輔

11/24 日私は、福岡空港からラオスにむかった。ボランティアをするためだったが、ボランティアなどほとんど経験がなく、ましてや海外旅行なんて初めての経験だったので自分につとまるのかと悩んでいた。出発前は、ラオスという国についてはあまり知らなかったというのが正直なところで、発展途上国ということだけ知っていたので治安や食べ物、病気と不安が絶えなかった。そして数時間後、ハノイからの乗り継ぎでそこで人生初めてのプロペラ機での飛行を体験した後ラオスについてからワクワクがとまらなかった。ルアンプラバンについたのはすでに夜だったが、ナイトバザールは、日本にすんでいるとなかなかみられなくて新鮮でなにより観光客も多いことに驚いた。ラオス初の夕食は筋張ったステーキだったがあのステーキにビアラーオはやみつきになりそうなくらいおいしかった。おかげで私は初日でラオスの魅力にはまってしまった。

ボランティア活動のほうは、最初は緊張してうまくうごけなかったが、子供たちと接していくうちにだんだんと慣れてきた。礼儀正しく受け取ってくれたり、笑顔をみせてくれたり、もらってからすぐ使ってくれたりして正直とても楽しかったし、やりがいもかんじた。校舎も想像していたよりずっときれいで、子供たちの作品などがざっているところなどおいてある備品なども日本の学校と変わらなく驚いた。しかし最初のほうにいった学校などはトイレの環境があまりよくなかったので衛生面で少し不安を感じた。未来のラオスをつくっていく人たちなのでこれからも勉強をがんばってほしい。ラオスの子供たちはすごく元気でほんとうに楽しかった。一緒にサッカーしたとき、サッカーボールたった1個で友達になれたことはたぶん一生忘れることができないくらい私の心に刻まれた思い出です。

今回のラオス旅行、私はとても楽しかったです。王宮博物館の見学、ナイトバザール、タートルアン祭り、ラオス式凱旋門などいろいろなところを見学させてもらい、その都度丁寧な説明でその観光名所の説明をしていただき、とても勉強になりました。質問などにもいろいろ答えていただき充実した旅行でした。また個人的にラオスにいったとき友達にもおいしいお店やおすすめの観光スポットを説明できそうです。これもじゃっどのみなさんのおかげだとおもいます。気難しい大学生三人いろいろ迷惑かけたとおもいますがボランティアから観光にいたるまで面倒をみてくれたことにととても感謝しています、ありがとうございました。

今回のラオス旅行でラオスに対するイメージが旅行前とまったく変わりました。発展途上であることは変わりませんが衛生も日本ほどありませんが、それでもなおひきつけるラオスの魅力をかんじました。子供たちも誠実で元気があり一緒にいて楽しかったです。異国の人とふれあいがこれほど楽しくかんじられたのもじゃっどのみなさんのおかげだとおもいます。素敵で貴重な体験をありがとうございました。

ラオス研修旅行報告

在:神奈川 木場貞成

前泊予定の福岡ではホテルが取れず熊本に前泊するという異例の旅行になってしまったラオス研修旅行。旅行中にもいくつかのハプニングがあり旅の印象を強烈にした研修旅行でもあった。出発が急遽、別便になった参加者がいたが、30 時間後には何もなかったように全員がスケジュール通りの行動ができたし、また帰国日になって参加者の一人がパスポートを盗まれるという事件が発生したが、これまた海外では例がないと思われることが起き4 時間後には予定通り全員そろって帰国便の搭乗手続きが出来、何事もなかったように帰国出来たのである。人を助ける人はまた人に助けられる。まさにそのとおりであった。

ところでラオスはたびたび訪問していたが、研修旅行で訪れるじゃっどの支援している小学校はもちろん初めてであり、途中の道のりは 10 年ほど前に通ったことがある道ではあったが、今や道路状態といい、交通量といい、10 年前とは雲泥の差があり、改めて都市のみでないラオスの発展ぶりにびっくりの連続であった。

訪れた小学校も想像していた以上で、10 年ひと昔ということがラオスにも感じられ、戦後の日本の発展ぶりとは何か共通するところを感じられた。

じゃっどの支援が学校発展に寄与していることが身をもって感じられたのは、学校が良くなっていることと共に、訪問した学校では生徒が列をなして我々を迎えてくれていたし、先生や父兄が皆集まり、それこそ村をあげての歓迎会を開いてくれていたことでも十分わかった。



今回のハイライトの一つである寄贈した机に名前を書き入れる行事は、手分けしてそれぞれの学校に行ったため、自分の名前こそ書き入れなかったが、あとで自分の名前の入った机とそこで勉強するであろう子供達と一緒にしたら何か今までに感じたことのない嬉しさがこみ上げてきた。この立派な机で思いっきり勉強して立派な大人になってほしいと願わずにはいられなかった。何年か後には再度訪れてみたいものである。

今回の研修旅行で感じたことは、百聞は一見にしかず、現地で触れ合い我々の援助がどう役立っているかを知ると同時に、今後は彼らが自助努力するようにどう援助していけばいいのかを考える必要もあるなあということであった。

【事務局たより】

新規会員・ご寄付（2012年9月～2013年2月）

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます。（以下敬称略させていただきます）

■ **新規会員** 時村祐輝、時村英輔（鹿児島市）時村兼輔（東京都）上野多留子（薩摩川内市）田良島美佳子（東京都）

■ **平成 24 年度会費** 田邊ツル子（大島郡）米山史朗、桑原美智子、岩崎岩男、夏越久美子（鹿児島市）木場貞成、木場弥生、望月明子（神奈川県）今村久美子、庵地紘一、（株）橋口組、松井将師、瀬戸山弘子、帖佐徹、帖佐理子、愛甲明実、上野多留子、小倉邦子、渡辺裕子、三本积世（薩摩川内市）田良島美佳子、阿部貴美子、宇津木和子、小林義郎（東京都）平屋四男（いちき串木野市）吉田いつこ（奈良県）鎌田到（北海道）斉藤洋史（埼玉県）森田由夫（愛知県）小幡順子、中村律子（出水市）鈴木琴子（茨城県）熊谷銀次郎（兵庫県）高木史江（富山県）松永武志（阿久根市）

■ **平成 25 年度会費** 神彰男、愛甲勝、瀬戸山弘子、下尾崎健一（薩摩川内市）尻無浜むつみ（いちき串木野市）高橋栄子、田良島美佳子（東京都）横林明雄、砂田裕仁（千葉県）宇井豊（神奈川県）高野眞綾（埼玉県）時村ヨシ、時村睦子（鹿児島市）姫野治子（福岡市）

■ **寄付金** 上赤順子、下馬場清子、神彰男、庵地紘一、松井将師、仮屋泰子（薩摩川内市）木場貞成、木場弥生、宇井豊、望月明子（神奈川県）松山容子、（東京都）横林明雄（千葉県）鹿島友義、時村ヨシ、時村睦子、飯田富美子（鹿児島市）高野眞綾（埼玉県）小幡順子（出水市）高橋真弓（いちき串木野市）

■ **机、いす募金** 4口：望月明子（神奈川県）
2口：上赤順子、神彰男、牧田弘子（薩摩川内市）時村ヨシ、時村睦子（鹿児島市）（東京都）木場貞成、木場弥生（神奈川県）横林明雄（千葉県）牟田香久子（福岡県）
1口：木藤晃、庵地紘一、松井将師（薩摩川内市）宇井豊（神奈川県）阿部雅昭、阿部貴美子（東京都）

■ 大口寄付 姫野治子、古田宣稔、若松郁子

■ 新聞発送協力 立島尚子

【国内活動】

8月24日 水引中学校講話（古田）

9月7日 第1回薩摩川内市市民活動ネットワーク会議（宮脇）

9月29日 第5回理事会（古田、帖佐、小幡、神崎、宮脇）

10月6日 第1回記念誌作成委員会（神崎、高橋、古田、帖佐、小幡、宮脇）

10月7日 JICA 国際協力パネル展 於：天文館びらもーる
～ 8日

10月13日 第6回理事会（古田、帖佐、小幡、神崎、宮脇）
第2回記念誌作成委員会（神崎、古田、帖佐、小幡、増岡、宮脇）

10月27日 純心女子大学祭参加（パネル展示、雑貨販売）
～ 28日 （牧田、立島、小幡、古田、高橋、増岡、柴、宮脇、鹿児島大学ボランティア体験学習大学生2名）

11月8日 鹿児島大学講義（ボランティア論）（帖佐理事）

11月10日 第19回ラオススタディツアー参加者事前説明会（古田、小幡、帖佐、木場貞成、時村祐輝、時村英輔、高橋、宮脇）
第7回理事会（古田、帖佐、小幡、神崎、高橋、宮脇）

11月10日 第3回記念誌作成委員会（神崎、古田、小幡、帖佐、高橋、泊、増岡、柴、牧田、宮脇）

11月24日 第19回ラオススタディツアー
～ （古田宣稔、帖佐理子、若松郁子、帖佐徹、木場貞成、

12月1日 内田耕也、野元善文、時村兼輔、時村英輔、時村祐輔、
11月26日 高橋真弓）

12月9日 今井海外協力基金中間報告提出

12月15日 高城西地区青少年健全育成会報告会にて講話（古田）
第4回記念誌作成委員会（神崎、小幡、古田、帖佐、増岡、伊東、宮脇）

1月5日 第8回理事会（古田、帖佐、小幡、神崎、宮脇）

1月12日 第5回記念誌作成委員会（神崎、古田、小幡、帖佐、伊東、高橋）

2月2日 第6回記念誌作成委員会（神崎、宮脇、高橋）
第7回記念誌作成委員会（神崎、古田、小幡、泊、増岡、宮脇）

2月2日 第21回青少年健全育成意見発表会後援参加（古田）

2月10日 第8回記念誌作成委員会（神崎、高橋、小幡、泊、古田、増岡、宮脇、神崎裕士）

じやっど INFORMATION

◆ じゃっど 20 周年式典開催! ◆

日時：平成 25 年 3 月 24 (日) 12 時～ (11 時 30 受付)

場所：割烹 安藤 (0996-23-3000)

「じゃっどの歴史を皆で振り返ってみませんか」



すでに会員の皆様にははがきをお送りし、ご出欠確認をいただいておりますが、じゃっどの 20 周年の活動を振り返り、今後の方針等お声を頂ければと思います。皆様の支援あって続けて来られたじゃっどの活動です。まだ返送されていない方もどうぞお気軽におこしください。じゃっどの 20 周年記念焼酎を造りました。ご参加の方には差し上げますが、御希望の方は事務局までお問い合わせください。

・・・・人とのつながりが 20 年間じゃっどを支えてきました。ありがとうございます・・・・

◆ 鹿児島純心女子大学 学園祭に参加 ◆

晴天に恵まれ賑やかに開催されました。鹿児島大学ボランティア論受講生の学生 2 名もボランティア体験学習として参加してくれました。お手伝い、お買い上げくださった皆様、ありがとうございました。



◆ お知らせ ◆

F M薩摩川内開局記念イベント

「FMさつまさんだいフェスタ ～らじかん～」
じゃっども参加します!



日：3 月 2 日 (土) ～3 日 (日) +

会場：川内駅西口 (駅周辺地域)

ラオス活動のパネル展示をします。お近くにお越しの際はぜひ覗いてみてください。

会員様の会費納入状況 (会費有効期限) は、宛名シール内に記載してありますので、ご確認ください。(今年度平成 24 年度会費の有効期間は、平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日です) 24 年度納入された方には、宛名シール：会費有効期限 2013/3/31 とあります。

※ゆうちょ銀行の自動引落としにて会費お支払の方は、支払日＝8 月 30 日となっております。

※振込用紙はすでに次年度会費を納入済みの方にも同封してあります。寄付金等のご協力にお使いいただければ幸いです。

じゃっどの活動は皆様の会費に支えられています。

机いす募金・寄付金、随時受け付け中です。

よろしくお願いいたします。

ゆうちょ銀行： 02050-2-4746 口座名 JADDO

★★編集後記★★

★「成人式!! ですね。20 年続けることは大変なことです。まずは、おめでとう!! む? 20 歳人間にたとえると酒が飲める年齢ではないか。お祝いで飲もう、ラオラオは美味しい」

(KAMI)

★スタディツアーに参加した頃は 1 \$ 80 円を切っていたのに、ほんの 3 カ月足らずで 1 \$ 93 円になっています。輸出産業には嬉しい限りでしょうが、旅行者には厳しい状況です。こんなことなら、あの時もっと \$ を買っておけばよかった～なんて、セコイ事を考える私です。♥♥ (はいぶりっじ)

★大変お待たせしました、11 月のラオスツアーの報告掲載のじゃっど新聞がやっと出来あがりました。ラオスでは村人たちが参加で盛大に行われたようです。3 月 24 日の式典にはラオスから 5 名、東京や愛知からも会員が駆け付けてくださいます。楽しいひと時になればと今から楽しみです!

(M. M)